

フィールドワークを通じて出た意見

- ・ 2日間とも参加。感じたことは、植栽が寂しいところがあったのが残念だった。百花園は自然を残した庭園となっていて感銘を受けた。対照的に百樹園はもう少し自然を残してほしいと思った。
- ・ 向島地区と本所地区を比較すると、圧倒的に向島地区の方が緑が多い。本所地区として、たもんじ交流農園など手本にすべきところが多かった。百樹園もそうだが、区としてこういうことをやった方がいいと提案すれば実現するのではと思う。百花園は東京都の管轄かと思うが、今後も維持してほしいと思った。
- ・ 近所に大横川親水公園がある。緑と水があると良いなと思っている。区民の方も手かけられる場所があるといいと感じている。
- ・ 区として花と緑の活動をやっていることを知らなかった。活動を知ってもらう場が環境フェアだと思った。門倉委員と佐原委員からの話がとても参考になった。
- ・ 2日間とも参加。活動していることを発信していくための手段（SNS）があるといいと思った。学習園に花の名札があるのは勉強になった。プランターの花も名札があるといい。活動している人の顔がわかるといいと思った。環境フェア等でどう発信していくか、緑がCO2を吸収するということがわかればいいと思う。
- ・ 2日目に参加。まず東向島駅前に夏は寺島ナスなどを植えていて江戸野菜が植えられているのはいいと思った。一方で、反対側のプランターは枯れていた。管理している企業に働きかけた方が良い。第二寺島小学校も良いと思った。百花園で佐原委員から色々な話を聴けて興味深かった。ナチュラルガーデンとよく聞くと、そうしたものの聖域と言えらると思う。東白鬚公園にもガーデンのようなものがあった。色々取組があればいいが、防災団地なので難しいかも。たもんじ交流農園もお祭りなどをやっているということで素晴らしかった。企業として緑化の取組があると良いと思った。
- ・ みなさんが緑化に関心を持ってきて嬉しかった。緑と花のサポーターのみなさんにも区民会議が関心を持っていることを伝えた。活動を区民にどう伝えていくかが課題。いい例を挙げると両国にある企業の花壇は押上駅前と対照的に社員できちんと手入れしている。管理、注目されるにはどうしていくのが良いかというのが課題。
- ・ 真面目に歩くのが久しぶり。肌で感じることができた。向島の方が道の大きさによるが、植栽に力を入れている。本所はクールとも言えるが寂しい。庭先の緑が増えるといい。昔は植木鉢があつて良かったものが道路の拡幅で寂しくなったところもある。画一的な緑の整備でなく、人の顔が見えるような管理が好ましい。たもんじ交流農園での活動を通じ、地球環境の変化により、ホタルが生育できなくなっていることを感じる。虫と植物の両方が生育できる環境づくりが大切。
- ・ フィールドワーク実施に係る資料を見て、復興小公園の中に東京都が公園の再生を後

押ししますとある。再生の方法を考えた。業平公園を見たが、地面は更地で砂地だった。たもんじ交流農園の例のように TM9 の芝生を生やしてお金をかけずに緑化するので良いと思った。緑町公園のフェンスも生かして緑化することも併せて区民に提案していきたい。また、押上駅周辺のまちなか緑化も寂しかった。管理している企業として意識が低いので、気づかせていくことも大切だと思った。

- ・ 2 日目に参加。佐原委員の説明に感動した。石の説明、植物が自然を活かして植えてあることが良いと思った。見学したときに寺島ナスが実っていた。食べたことがあるが、皮が固い。焼いて食べるのがいいのか。もう少し工夫すれば皮をやわらかくできるのではとも思うが、もっと普及してほしい。農園ではえごまの種をもらった。
- ・ 1 日目に途中まで参加。百花園は地域に発信するのに良いと思う。区民は緑に興味があると思うが、敷地がいっぱいで道も狭い。地球温暖化も緑も大事。小林委員のいうとおり砂地は危ない、芝生があった方がいい。
- ・ 2 日とも行けなかったが、区の緑について 3 点述べたい。まず、百樹園の完成がいつかわからないが、完成を期待している。2 点目は安田庭園の塀を取り除きたいと思い、署名活動をした。素晴らしい庭園なのに外からだと見えない。見た方がいいので、実現に向けて活動している。区立公園なので、もっとアピールした方が良いと思っている。3 点目ははなみずきが外来種に指定されたので、はなみずき通りは今後どうなるのか注視している。存続してほしい。
- ・ 2 日目に参加。印象に残ったのが、防災団地の公園。広大な敷地の公園があることを知れてよかった。ただ、人通りが少なかったので、イベントとかがあっても良いと思った。農園はこじんまりとしながらも活発な活動があって良いと思った。企業とコラボして屋上も緑化に活用していければ良いと思った。緑化への反対意見もあるので、ヒートアイランド対策になるなど、大学などとコラボしながら普及活動ができれば良いと思った。まちなか緑化のプランターが目立っていなかったのも、もっとアピールしてもいいと思った。
- ・ 実際に歩いてみて思ったのは、区民皆さんの意識が鉢植え等で高いと思った。一方で区民に向けて具体的にどう発信していくかが大事だと思った。
- ・ 路地の園芸について。狭い路地に鉢植えを置くと防災上危ない。見せるためにやっているわけではなく、家で仕事をしていて息抜きでやっている。お金をかけないで安らぎのためにやっている。種類も在来種が多い。種のやり取りで周囲との交流もある。あつという間に広まっていくのが面白い効果。やり方は難しいが、どういう風にやっていくかが課題。
- ・ 路地園芸が区内で盛ん。墨田区で空き巣が少ないのは路地園芸が理由ではないかと言われている。
- ・ 2 日目のフィールドワークに参加させていただいた。初めて訪問する場所ばかりだったが、墨田区内に魅力的な場所があることを発見した。向島百花園は季節によって違う景色が見

られると思うのでまた訪問してみたい。また、たもんじ交流農園では、たまたま作業に来ていた方が「週に一回ペースで錦糸町から自転車で 30 分かけて来る」と仰っているのを聞き、農のある暮らしを楽しんでいる区民の方が大勢いらっしゃると感じた。今後もっと広い場所で農園が創設されたら、より多くの区民の方が農体験を楽しみ、そこからコミュニティが育まれる魅力あるまちづくりに発展していくのではと思った。